

あなたと議会をむすぶ

議会広報

令和6年8月22日発行

第179号

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173-82-0906(直通)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



～ 議員行政視察 ～

今年度の行政視察は、秋田県能代市で行われている能代港港湾区域での洋上風力発電事業、秋田県の誘致企業として設置されている中国木材株式会社能代工場、JAXA能代ロケット実験場を視察しました。

(写真はJAXA能代ロケット実験場視察時のようす)

※視察内容は、10～11ページに載せています

令和6年7月3日

6月
定例会号

第2回定例会、第3回臨時会

2～3

一般質問（13人が傍聴）

4～7

議員管内行政視察

8

議会活動、議員研修会

9

議員視察レポート 秋田県能代市

洋上風力発電事業、地域活性化事例

10～11

はつらつチャレンジャー 自然素材を編む

12

鰺ヶ沢町議会ホームページへアクセス



鰺ヶ沢町議会

検索



QRコードは
こちらから

令和6年
第2回
定例会

会期
6月7日～11日

定額減税補足給付金などを含む 補正予算案を可決

令和6年第2回定例会が6月7日から11日までの日程で開かれました。開会日の7日、一般会計補正予算案など議案3件、報告3件が上程されました。

10日の一般質問では、議員4名が人口減少抑制に関する町の取組について、洋上風力発電事業について、あじバスへの小学生の乗車について、牛島地区の水道事情についてなどを町政へ問いました。（質問内容は4～7ページに掲載しています）

最終日には、本会議において審議の結果、全ての議案が原案どおり議決されました。

また、議員から議会改革特別委員会設置に関する決議1件が追加上程され、議決されました。主な議案等は次のとおりとなっています。



【主な歳入補正予算】

- ・物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金
187万5000円
- ・子ども・子育て支援事業
費補助金（児童手当
制度改正分）
431万2000円
- ・あじがさわ未来応援基
金繰入金
300万円
- ・財政調整基金繰入金
1419万8000円

▼令和6年度一般会計 補正予算

可決

【主な歳出補正予算】

- ・定額減税補足給付金
（定額減税調整給付金
対応業務委託料）
187万5000円
- ・児童手当等（児童手当
システム法改正対応業
務）
38万1000円

一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ2238万1000円増額し、補正後の予算総額は85億3238万1000円となりました。

【主な歳入補正予算】

- ・果樹経営支援対策事業
費（りんごモモシンク
イガ特別防除対策事業
費補助金）
225万円
- ・農道管理費
550万円
- ・林道管理費
450万円
- ・大高山総合公園管理費
144万4000円
- ・防災業務・災害対策費
200万円

▼令和6年度国民健康 保険事業特別会計補正 予算

可決

国民健康保険事業特別

会計は、歳入・歳出それぞれ99万円増額し、補正後の予算総額は15億779万円となりました。

【主な歳入補正予算】

- ・社会保障・税番号制度
システム整備費等補助
金
99万円

【主な歳出補正予算】

- ・一般管理費（マイナ
ンバーカードと健康保険
証の一体化に向けたシ
ステム改修業務委託
料）
99万円

▼固定資産評価審査委 員会委員の選任

同意

6月19日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員を選任することに同意するもの。

▽再任

安田 まさみ 氏
安田 正美 氏

【任期】

令和6年6月20日から3年

▼報告第3号
令和5年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

令和6年度に繰り越しされた主な事業は次のとおり。

- ・（令和4年発生）道路
災害復旧事業（赤石溪
流線など）
2億2506万5000円



復旧が待たれる赤石溪流線
（令和4年8月大雨災害直後のようす）

・道路橋梁災害事業

負担金

1億7000万円

- ・（令和4年発生）社会
教育施設災害復旧事業
（舞戸公民館エレベ
ーター）
3704万5000円

議会改革に関する調査検討を行うため 議会改革特別委員会を再度設置

本定例会最終日の6月11日、議員発議として議会改革特別委員会設置に関する決議が提出され、全会一致で同委員会が再度設置されました。今後、委員会では議会基本条例による検証のほか、議会改革に関する調査検討していきます。



提案理由の説明をする神孝議員

が委員長報告を行いました。

本定例会では、神孝議員が、改選後の全議員の総意として、議会改革に関する調査検討を行うことを目的とし、議会改革特別委員会設置に関する決議案を提出。趣旨説明を行いました。

決議を採決の後、議長から議会改革特別委員会委員5名が指名され、委員会が開かれ、委員長に菊谷忠光委員、副委員長に東條一彦委員が互選されました。

令和2年第2回定例会で設置された議会改革特別委員会では、議会基本条例の制定に向けての協議、議会本会議等の映像配信についての検討、ICTを活用した議会運営等についての研修会や導入している他議会への視察などを行い、令和6年第1回定例会で改選（今年3月）前の議会改革特別委員会菊谷忠光委員長

今後、委員会では議会基本条例の検証に関する調査・検討することが決まりました。

議会改革特別委員会委員（定数5名）

◎委員長 菊谷 忠光
委員 須藤 一
委員 齋藤 孝夫

○副委員長 東條 一彦
委員 今 勝義

オブザーバー

議長 田中 亨



第3回臨時会が5月17日行われ、上程された議案3件、報告1件について審議を行い、全会一致で可決されました。

主な議案は次のとおりとなっています。

**第3回
臨時会
5月17日**

▼工事請負契約の締結
可決

【工事名】

- ・4災第142号赤石溪
流線道路災害復旧工事
- ・4災第143号赤石溪
流線道路災害復旧工事
- ・4災第145号赤石溪
流線道路災害復旧工事

【工事概要】

令和4年8月の大雨による赤石溪流線道路災害の復旧延長、土砂流補足工、大型ブロック積工、小口止コンクリート、舗装復旧工、植生工、場所打擁壁工、コンクリートブロック工、ガードレール等

【仮契約日】

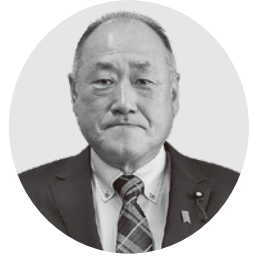
令和6年5月13日

【契約金額】

1億6500万円
7425万円
7700万円

【契約の相手方】

株式会社 ストヨネ



菊谷 忠光議員

人口減少抑制に関する町の取組について

問・若い世代が当町に住み続けたいと思えるような取組をしているものか伺います。

答弁・三上企画観光課長

当町では、移住、創業期への取組として、「移住支援金」「創業支援事業補助金」「空き店舗等活用対策事業補助金」「空き家活用リフォーム補助金」等の支援対策を実施しています。現状では、高校・大学卒業後、若い世代の多くは進学・就職で、魅力的な働く場、生活の場を求め都会へ出る人が多くなっています。ただ、魅力的な仕事があれば、町に残る、あるいは帰ってくる人もいます。

6月定例会では、4名の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し町長の考えや、町の施政方針を問います。

若い世代が住み続けられるような取組は答へ移住定住促進につながる事業を支援する

思われます。

今般、洋上風力発電事業による新たな産業、事業所の開設等々の効果により、町に帰ってくる人、



洋上風力発電が行われている能代港のようす

残る人もいると思われるます。

また、特定地域づくり事業協同組合という組織ができ、6月から事業を開始することになっています。この事業協同組合

は地域内の仕事を組み合わせ、年間を通じて安定的な雇用や給与を確保するというところで、若者の移住、定住促進につながるものと思っていますので、町としてもこの事業に対して支援していきたいと思っています。

問・子育てに係る支援や、新たな取組について伺います。

答弁・一戸ほけん福祉課長

町では、安心して産み育てられる環境づくりを目標に、母子支援センターを中心に「産前産後ケア事業」「ママサポート事業」「紙おむつ支給事業」「放課後ルーム事

業」等を実施し、子育ての不安解消や困り事に対する支援を行っています。町広報でもお知らせしていますが、助産師による相談事業は対面や電話、ライン等で受付けし、少しのことでも気軽に相談できると好評をいただいています。

また、国の事業で昨年開始された、伴走型支援の出産・子育て応援事業の恒久化に加え、10月から、児童手当の支給範囲を高校生まで拡充することが予定されています。

町でも4月から子ども医療費無償化の対象を高校生まで拡充することで経済的支援を行っています。

今後も一人ひとりの子

どもが健やかに成長できるように、事業を推進していきたいと考えています。

問・高齢者が長生きするために、まだ働きたいという方々への対応や、生きがいを持って生活できるような取組を行っているか伺います。

答弁・一戸ほけん福祉課長

生きがいを持って生活できるような取組については、地域包括支援センターが実施している「生きがい趣味の会」「いきいき元氣水中運動教室」「いきいき元氣運動教室」などがあります。最期まで自分らしく生きるための超高齢社会を考える学習会なども実施しています。

まだ働きたいという方には、社会福祉協議会では実施している「いきいきワークセンター」なども支援しています。今後も、生きがいを持って健康に

暮らせる持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆津軽港の改修整備による周囲への影響について



津軽港のようす

図港湾周辺の道路整備と当町の企業への仕事が増える見込みはあるものか。

答・周辺道路の整備の予定はありません。当町の企業への仕事については、事業主体は青森県であり、これまでの工事で町内事業者も請負っている部分もあるため、受注の可能性はあると思われるます。



洋上風力発電が行われている秋田県能代市のようす



菊谷 尚久議員

洋上風力発電事業について

問・国が実施している洋上風力発電事業の青森県日本海南部、いわゆる鰯ヶ沢町とつがる市沖での事業が進行中ですが、この事業の経緯、現在の状況、そして今後の予定について伺います。

平成30年、海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律（再エネ海域利用法という）が成立しました。これにより、令和2年7月、青森県日本海南側の海域が有望区域として選定されました。

その後、令和2年12月、この地域の関係者、国、県、市、町の関係者で法定協議会を組織し、令和5年7月28日まで4回の協議会を開催し、意見の取りまとめを行ってきたところであります。

そして、昨年10月、促進区域に指定され、今年1月には発電事業者の公募が開始されました。現在は、7月の締切りに向けて公募がなされているところであります。

今後の予定としては、今年12月には発電事業者が選考されるのではないかとというふうに見られています。

問・本事業の地元へのメリットとして、町としてはどのようなことを想定しているのか。また、事業者が決まっている先行地域での地域貢献事例を具体的に示すことはできないのか伺います。

答弁・三上企画観光課長 この洋上風力発電事業は、2050年のカーボンニュートラルを目指して再生可能エネルギーを導入するという国の施策であり、町として分かる範囲でお答えします。

まず、これまでの経緯についてです。

市、町の関係者で法定協議会を組織し、令和5年7月28日まで4回の協議会を開催し、意見の取りまとめを行ってきたところであります。

その中で、選定された事業者は当該地域と運命共同体であるという覚悟を持ち、地域の課題や現状を理解した上で、漁業、地域振興策に取り組んでいかなければならないと考えています。

漁業振興策としては、漁業施設の改修や魚礁の設置、地域振興策としては、関連産業の誘致や新たな雇用創出などを想定していますので、町・地域の振興に資するものと考えています。

住民に対して説明や先行事例の視察等の実施は答へ国の事業であり、今のところ考えていない

せん。今後ほかの動向等を調査し、これからの振興策の協議に臨んでいきたいと思っています。

問・事業実施によって生じるリスクについて、町ではどのようなリスクを想定し、その対応策として何か検討しているものか伺います。

答弁・三上企画観光課長 本事業におけるリスクについてですけれども、心配されるのは洋上風力です。

直接の影響として、風車の建設による漁場の減少、漁獲量の減少、間接的には風車の稼働による水中音、振動等による漁場環境、漁場生物への影響が懸念されます。

発電事業者は、工事着工前、工事中、発電開始後も漁業影響調査を行うこととしており、漁場の位置、漁獲量、操業日数等の調査、漁業者に対す

る聞き取り調査を行って、漁業関係者の意見を十分に考慮して、調査を実施することとしています。

調査の結果、事業者の責めにより漁業操業への支障を及ぼしたことが客観的に認められた場合は、漁業関係者に対して必要な措置を取ることとしていきますので、町もそれに対応していきたいと思っています。

問・地域住民に対して、町として事業内容の説明や先行事例の視察等を実施する考えはないのか伺います。

答弁・三上企画観光課長 国の事業でありますので、住民説明会、視察等は今のところ考えていません。また、事業者が決定した後、その内容、発電規模等々が分かった時点で、「広報あじがさわ」等で町民の皆さんにお知らせしたいと思っています。



佐藤 薫議員

通学時のあじバス への小学生の乗車 について

問・教育委員会では、文部科学省の指針を参考に、小中学校における通学に関する基本方針を策定し、その中で、小学生は徒歩を原則としつつ、通学距離が概ね4km以上であじバスの利用をすることができるとしています。

近年は猿や熊の出没、夏季における異常な暑さなどにより、状況も変化し、特に舞戸地区の上野、みどり団地などは、長い坂道もあり、安全対策として臨時的にバス対応などを行っているのは承知していますが、恒常的な対応ができないか質問します。

小学生通学のあじバス利用を恒常的に 答へ安全確保など緊急措置として対応する



通学路になっている国道101号線バイパスの坂道

で、11月中旬から1ヶ月余り、緊急措置としてあじバスの利用や公用車による送迎を実施したところであります。

緊急措置については、すぐに対応できるよう準備しているところでありますが、恒常的なバス利用については考えてはいません。

答弁・清野学校教育課長
教育委員会では、通学距離が概ね4km以上である場合、あじバスの利用を認めています。

また、猿や熊の出没等により児童の安全確保が必要な場合についても、学校と協議しあじバスの利用を認めるほか、一定期間公用車による送迎を実施することになっています。

昨年は、熊の出没回数が増加したということ

ことは体力の向上及び健康増進、そして危険回避能力の育成ということ、小学生については非常に大切だと思っています。

よって、恒常的なバス利用については、通学が非常に困難である、または大変であるという状況になったときに改めて検討するということと考えています。

意見・徒歩通学が児童の体力向上につながることは理解していますが、安全管理面から危惧していますので、あじバスの恒常的な利用を検討してくださることを要望します。

答弁・阿彦教育長
教育委員会では徒歩通学を推奨しており、歩く

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆多目的住宅(新田地区)

の入居状況等について
円移住及び定住の促進を図り、町づくりに資することを目的として設置された多目的住宅の入居状況等について伺います。



改修された新田地区の多目的住宅

答3棟のうち、1棟に町外出身の鰯ヶ沢高校の生徒が1名入居しています。残りの2棟のうち、1棟は女生徒用に確保し、残り1棟についても鰯ヶ沢高校の生徒の利用がない場合、お試し住宅等の利用も検討しているところであります。

意見・西北五地方を中心に、県内から少しでも

鰯ヶ沢高校に入学を希望する生徒を呼び込むことが大切だと思いますので、県内入学者の増加に向けての対応と、町外から期間限定で働く人への住宅利用など各種対策を講じ、入居者の増加に努めてほしい。

◆带状疱疹ワクチンの助成について

圓疾患を防ぐため、ワクチンの有効性が指摘されていますが、接種費用が高額なこと、経費の一部を助成すべきと考えますが、町側の考えについて伺います。

答現在任意接種の扱いであり、助成対象とする考えはありません。ただし、厚労省の審議会で、带状疱疹ワクチンの定期接種化の是非を検討していますので、国の動向を注視しながら、柔軟に対応したい。



東條 一彦議員

牛島地区の水道事情について

問・牛島地区における水道事情の現状はどのようなになっているかお伺いします。

答弁・工藤建設水道課長

現在、牛島地区には町が管理する水道施設はありません。現状として、各自において井戸水の使用や山からの湧き水等を活用していると伺っています。

問・今後の課題、対策について、どのようなになっているのかお伺いします。

答弁・工藤建設水道課長

町の水道事業の現況は、施設の老朽化が進んでおり、施設の更新や耐

牛島地区の水道事情と今後の対策は 答へ給水の計画は非常に厳しい

震化のための整備などを計画していますが、財政的に非常に厳しいことから、特に影響の大きい施設を選別して整備しなければならぬ状況にあります。このことから、牛島地区への給水の計画は、非常に厳しい状況であります。

井戸水や湧き水は将来的になくなる可能性が非常に高いと見られており、特に夏場の時期は、水の使用量が増え、水が出なくなることもたまにあり、水圧も低く、洗濯をしながら風呂に入ることなどできないなど懸念材料も聞きます。

水は命に関わる問題であり、地区の次の世代の方に非常に支障をきたすもので、地区の消滅にもつながることを思いますので、牛島地区の方々の意見を直接聞いていただきたい。

意見・住民の方々からは、井戸水や湧き水は将来的になくなる可能性が非常に高いと見られており、特に夏場の時期は、水の使用量が増え、水が出なくなることもたまにあり、水圧も低く、洗濯をしながら風呂に入ることなどできないなど懸念材料も聞きます。



町浄水場のようす

◆ほ場整備事業について
現在町内での相談、計画、事業進行中のものがあるか伺います。

答へ場整備事業が進められている箇所は現在ありませんが、赤石川の上流部の水田地域について、この地域の方々、農家の方からお話があり、ほ場整備について検討しているところでもあります。

間いつ頃からの相談で、いきさつなども分かればお知らせください。

答へ5年以上前に初めてそういう要望があるというの認識していたようであります。

農家の方々は、水田を広くしたいという考えがあった中で、補助事業のメニュー内容を県の方が

ら聞いたようで、その辺からできないかというふうに進んでいるようであります。

まだ検討段階であり、具体的には補助事業の採択をするためのいろいろな要件があります。これをクリアするために地元の方はこういった情報の整理をしておかなければならないか、さらにこの事業は稲作だけでなく、高収益につながる野菜も栽培し、売上げを上げなければいけないといった条件もあり、地元の方には、実際どうという野菜を作れそうか、売上げを上げられそうかと話している状況にあります。

間町としてはこれからのほ場整備について、相談が来れば受けるのか、それとも推奨していくのか、考えを伺います。

答へ土地改良事業については、農業をされている皆さんが前向きに検討しているということで、町に

も何回かおいでになっていきます。土地改良事業は、非常に莫大な事業費を要する事業でありますので、補助を使う場合の要件を、うまくクリアできるように整えていくことがまず必要となります。この事業は、町だけではなく、国や県も関わる事業でありますので、国、県ともしっかり話をしながら、対応していきたいと思っています。

意見・莫大なお金がかかる事業ですので、簡単にはできないと思います。が、これからの鯉ヶ沢の農業、また高齢化が進んでいる中で、次世代に引き継ぐためにどうすればいいかを考えての相談だと思います。役場の方々は良い情報、新しいアイデアを持っていると思うので、相談に乗っていただいて、これからの鯉ヶ沢の農業のためにもぜひ前向きに進んでいただければと思います。

議員管内
行政視察舞戸子の星こども園、町多目的住宅、
エコクリーンアフィを視察

6月14日、議員11名が参加し、管内行政視察が行われました。

視察場所は、昨年11月に高台へ移転した舞戸子の星こども園、町多目的住宅、西海岸衛生処理組合エコクリーンアフィの3カ所です。加藤隆之副町長が同行し、担当から現状の説明を受けました。

◆舞戸子の星こども園

昨年11月、旧舞戸保育所が舞戸上野地区に高台移転したことから、視察をしました。

旧舞戸保育所は、舞戸

新田地区に位置し、建設から38年が経過、老朽化

の進行と園地も狭いこと

から、十分な運動場の確保や教育・保育施設の増改築が困難な状況にありました。

また、津波や中村川の氾濫による浸水想定区域に位置し、速やかな避難には時間的余裕がないことから、高台への移転と新園舎を建設することになりました。

新園舎は鉄骨造一部2階建てで、園児の定員は65名となっていて、36名の園児が通っています。

園内には、教育・保育施設のほか、子育て支援室も設置されており、子育て中の親御さんの相



園内多目的ルームのようす



子育て支援室内のようす

談、支援の場にもなっています。

◆町多目的住宅（新田地区にあるA棟・C棟）

舞戸新田地区にある旧医師住宅を改修した町多目的住宅の現況を視察しました。



多目的住宅内部のようす

入居の対象は、町外に住所を有し、町内への移住を希望する者及びその家族、町内の地域おこしとなる活動を行う者及びその家族、青森県立鱒ヶ沢高等学校に在籍する者または入学が決定している者及びその家族等とされています。

定員は1棟3名で、現在1名が入居しているとのこと。

◆西海岸衛生処理組合エコクリーンアフィ

昨年6月から、焼却処理施設の処理能力を回復させるため、基幹改良を行っているエコクリーンアフィの現状と、一般家庭から収集された資源ゴミの仕分けの状況を視察しました。



施設内で説明を聞く議員

・紙類：細かく裂いて出している方も多いが、仕分けの時のことを考えると箱等をたたんだ状態で出してほしい



手作業で行われている紙類の仕分けのようす

・缶類、ペットボトル：ある程度の量をまとめて圧縮するため、潰さずに出してほしい



仕分け後に圧縮された缶類



議員を代表し田中亨議長が玉串奉てんを行い、町内外から多くの海水浴客が訪れる鰺ヶ沢海水浴場の期間中（8月18日まで）の安全を祈りました。

7月12日、はまなす公園において、鰺ヶ沢海水浴場安全祈願祭が行われ、議員9名が出席しました。

鰺ヶ沢 海水浴場 安全祈願祭

議員 研修会

県下町村議会議員研修会 『日本政治の行方』～ズバリ解説！政局の焦点

講師にはテレビ番組などにも多数出演している政治ジャーナリストの細川隆三さんが招かれ、『日本政治の行方』～ズバリ解説！政局の焦点と題しての講演がありました。

講演の中で細川氏は、国際情勢の影響を受けている電気・ガソリン価格等の高騰や物価高、今後



講演する細川隆三氏

7月17日、リンクモア平安閣市民ホール（青森市）において、県下町村議会議員研修会が行われ、町議員9名が参加しました。

内でおきた政治資金問題の解決へ向けた期待と、総裁選の展望、衆議院解散の可能性など、国政の行方について話していました。

のアメリカ大統領選挙による日本への影響などを話し、国の政策としての少子化対策の必要性、予算配分の大きい防衛費の使い道について詳しく解説していました。

また、長年政権の取材をしてきた視点から、自由民主党派閥



講演を聞く町議会議員

第3回定例会の予定

議会日程は、議会運営委員会において正式に決定されます。

開会中は町役場1階町民ホールのモニターに、議会のような流れが流れています。

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページでお知らせします。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

▼9月5日（木）

開会予定です

《開会後の日程は

次のとおりです》

▽9月6日（金）

一般質問

▽9月9日（月）

総括質疑

各常任委員会

決算特別委員会

▽9月10日（火）

討論、採決、閉会

令和6年度議員行政視察

秋田県能代市



7月2日(火)～3日(水)
能代市役所、能代港、
中国木材株式会社能代工場、
JAXA能代ロケット実験場

R e p o r t

議員行政視察

洋上風力発電所の商業運転後 産業振興など地域活性化事例を視察

町議会では、7月2日、3日秋田県能代市を訪れ、洋上風力発電事業の商業運転を開始している能代港の現況と、市内にある中国木材株式会社能代工場とJAXA能代ロケット実験場を視察しました。
視察内容について、佐藤薫議員のレポートで紹介します。

秋田県能代市は、秋田県北西部に位置し日本海に面した都市。東北地方を縦断する奥羽山地を源とする米代川が東西に流れ、日本海に注いでいます。米代川流域は、古くから秋田杉の産地として知られ、木材の加工業者の数や加工技術の高さから、かつて「東洋一の木都（もと）」と呼ばれていました。

令和4年には、能代港港湾区域内で国内初となる洋上風力発電が始まり、エネルギーのまちづくりを推進し、産業振興や雇用創出、人材育成及び地域活性化などの取組みを進めています。

令和6年5月31日現在の総人口 47,710人



能代市役所外観

今年度の議員行政視察は、国内初となる港湾区域内での洋上風力発電所の商業運転を始めた、秋田県能代市を訪れました。

能代市は、特色を活かしたまちづくりを進めていて、中でもエネルギーのまちづくりに力を入れています。
平成13年に風力発電所の運転が開始され、太陽光発電やバイオマス発電など、再生可能エネルギーの導入が進められています。



洋上風力発電について説明を受けるようす

7月2日
洋上風力発電事業に関する取組について

・能代市役所での座学
能代市役所を訪れ、市のエネルギー産業政策課長から洋上風力発電事業の取組について、説明を受けました。

平成25年から大型風力発電の導入が進み、平成28年には秋田県で最大規模となる風力発電所の運転が開始され、令和4年12月には、能代港港湾区域内で全国初となる洋上風力発電所の商業運転が開始されています。
洋上風力発電事業の効果として、雇用創出が2650人、経済波及効果は270億円と試算され、昨年度、視察には全国から1400人程が訪れ、市内宿泊ホテルの需要も伸びているとのこと。

議員からの質疑

「洋上風力発電事業への市民の理解度は？」

「市からの説明会などは行わず、広報で進捗をお知らせしてきた。陸上の風力発電事業を行い、その後洋上風力発電事業が行われたため、大きな反対の意見は聞かれなかった。」

・ 閼生態系への影響は：

【答】港湾区域内は漁業権がない場所であり、貝類を採る漁業者はいるが、採れなくなったという話は聞かない。

・ 閼騒音などの影響は：

【答】港湾区域と市街地との間に風の松原（松の防砂林）があるため、市街地に音は届きにくく、影響は少ない。



港近くの風の松原（防砂林） 写真奥

・ 能代港周辺の状況視察

能代港を望むはまなす展望台から、能代港ふ頭用地の地耐力強化・用地造成などを実際に見ながら、担当者からの説明を受けました。



今年度中に完成予定のふ頭用地



はまなす展望台で説明を受けるようす

7月3日

中国木材株式会社能代工場

・ 工場内視察

中国木材株式会社は、広島県呉市に本社を有し、国内トップシェアを誇る製材メーカーで、秋田県と能代市と立地協定を結び、秋田県の誘致企業として能代工場が設置されました。



会議室で説明を受けるようす

この日は、担当者から会議室で説明を受け、工場内ラインの動画を視聴した後、施設内の視察をしました。



広大な工場内の視察をするようす



敷地内に積まれた加工前の丸太

現在、能代工場では、製材、加工が行われ機械化により従業員の仕事は、機械の設定・監視、点検などが主なものとなっていて、女性従業員も加工ラインに加わっているとのこと。

今後は、製材、加工の途中で出る樹皮、チツ

プ、おがくずなどを用いた、バイオマス発電施設を着工する予定となっていて、発電事業にも着手すること。

能代工場は、地元雇用に力を注ぎ、従業員170人の内7割程の120人を地元採用しているとのこと。

JAXA能代ロケット実験場



燃焼実験施設内で説明を聞くようす

JAXA能代ロケット実験場は、東京ドーム1.3倍の敷地で、半径1kmに人が住んでいないことから、燃焼実験をするために、昭和37年開設されました。

能代市では、やっかいな風を追い風にすべくとの理念のもと、事業会社と連携して様々な地域振興策に取り組んでいることが、説明により理解できた。

また、風を財産として地域資源の有効活用を図るとともに、産業や雇用の創出につなげており、地域全体の活性化にも寄与している。

青森県沖日本海南側でも本年中に事業者が選定予定となっており、今回の視察で得たことを今後の議会活動に生かしたい。

〈記 佐藤 薫

特集

はつらつ チャレンジャー

Vol.9 自然素材を編む

「はつらつチャレンジャー」9回目の今回は、工藤祐作さんにお話を伺いました。

聞き手は、木村光義広報委員、菊谷忠光広報委員です。



舞戸町

くどう ゆうさく
工藤 祐作さん

鯉ヶ沢町芦荻町出身。昭和5年生まれ。
長年、仕事の傍ら稲作も行い、自作の稲わらを使いわら細工も行っていた。現在も合間をみて、わらじなどを編んでいる。
町老人クラブ連合会会長等も務めた。
娘さん夫婦と舞戸町在住。

手仕事で丁寧に編み上げる 昔ながらのわら細工

Q わら細工は習って覚えてたのですか。

A 習ったわけではなく、小さい頃から見よう見真似で覚えたものです。

昔は、家にある材料や身近にあるもので、必要な物は自分達で作っていた。

わらじ、草履、蓑（雨や雪で衣服が濡れないよう

衣服の上にまとう雨具）、足半（山仕事の時に泥がはねるのを防ぐために作られた、踵がない小さめの草履）、馬靴（冬、農耕馬の蹄鉄は滑るため外し、代わりに履かせた馬用のわらじ）などの他に、神社に奉納するしめ縄や自宅用のしめ飾り等を手作りしていた。

元々わら細工を仕事にしていたのですか。

A いいえ。仕事をしながら米作りもしていて、合間にわら細工をしていた。わらじ作りを教えたこともあった。5年くらい前に田んぼを作るときをやめ、時間をみて、わらじや小さな馬靴、草履などは作っている。



完成したわら細工製品



わらじを編むようす

Q わらをなう（わらを何本かよりあわせて縄状にする）のも手作業で行っていますか。

A 大体1時間くらいかかります。

Q 出来上がった製品は、出品していますか。

A わらじや草履を編んだ後、裏側に出る稲わら进行处理した後、袋詰めをして海の駅わんど内の「あじ・彩・感」に出している。



わらを打つ機械（左）と材料のわら（右）



「あじ・彩・感」に出品されている草履など

A 昔は全部、手で行っていたが、今は何年も前に購入した機械でわらを打ってから行っているので少し楽になっている。

Q わらじを1足作るのにどのくらい時間がかかりますか。

Q 90歳を超えているように見えませんが、健康の秘訣は。
A 朝は5時半に起き、夜は9時に眠る。何でも好き嫌いなく食べることが多いです。